



平成30年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 マルカキカイ（株）

コード番号 7594 URL <http://www.maruka.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）竹下 敏章

問合せ先責任者 （役職名）取締役兼執行役員管理本部長 （氏名）飯田 邦彦 TEL 06-6450-6823

四半期報告書提出予定日 平成30年10月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年11月期第3四半期の連結業績（平成29年12月1日～平成30年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	46,548	23.3	1,739	40.7	1,904	34.4	1,243	37.2
29年11月期第3四半期	37,752	8.6	1,236	6.8	1,417	26.8	906	29.7

（注）包括利益 30年11月期第3四半期 1,000百万円（△18.9%） 29年11月期第3四半期 1,233百万円（300.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第3四半期	147.09	ー
29年11月期第3四半期	105.77	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年11月期第3四半期	45,053	20,412	43.9	2,351.75
29年11月期	41,531	19,861	46.4	2,254.59

（参考）自己資本 30年11月期第3四半期 19,787百万円 29年11月期 19,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	ー	17.00	ー	23.00	40.00
30年11月期	ー	20.00	ー		
30年11月期（予想）				23.00	43.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想（平成29年12月1日～平成30年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	8.9	2,200	16.1	2,400	14.5	1,500	21.4	175.63

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年11月期3Q	9,327,700株	29年11月期	9,327,700株
② 期末自己株式数	30年11月期3Q	913,664株	29年11月期	786,925株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年11月期3Q	8,455,178株	29年11月期3Q	8,569,291株

(注) 期末自己株式には「役員向け株式給付信託」および「従業員向け株式給付信託」が保有する当社株式があります。（平成30年11月期第3四半期 226,650株）が含まれております。また、「役員向け株式給付信託」および「従業員向け株式給付信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は引き続き改善しており、個人消費は底堅く推移いたしました。また好調な企業収益を背景に、設備投資も増加基調にあるなど、総じて緩やかな回復基調が続きました。

海外では、各国ともに景気回復、持ち直し基調である一方で、米中貿易摩擦を中心とした過剰な報復措置の応酬により、世界的な貿易戦争に突入する懸念があるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、「マルカグローバルイノベーションⅡ 新たな幕開け 変革の刻」を今年度のテーマに、中期経営計画の2年目として各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は46,548百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益は1,739百万円（同40.7%増）、経常利益は1,904百万円（同34.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,243百万円（同37.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[産業機械部門]

産業機械部門では、国内は自動車関連業界向けに工作機械を中心に販売が好調でした。

米州はアメリカは景気が着実に回復しており、自動車業界を中心に工作機械や射出成形機の販売が好調に推移いたしました。

アジア・中国は、市場規模の大きいタイやインドネシアでの自動車業界向け販売が伸び悩みましたが、マレーシアの部品販売事業や中国の環境設備の売上増が寄与し、落ち込み分をカバーいたしました。拠点により好不調の波はありましたが、総じて好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は39,509百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益は2,272百万円（同33.0%増）となりました。

[建設機械部門]

建設機械部門では、官民の建設投資は底堅く推移しており、復興事業に一服感が見られるものの設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、チャーター業界への販売が増加いたしました。また商品別ではクレーンの大口販売や中古機械の需要増などにより売上が伸びました。

この結果、当部門の売上高は6,993百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は291百万円（同40.1%増）となりました。

[その他]

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。

当部門の売上高は44百万円（前年同期比48.4%減）、営業利益は20百万円（同32.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は45,053百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,521百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加（前期末比1,738百万円増）、受取手形及び売掛金の増加（同1,394百万円増）によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は24,641百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,971百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務の増加（前期末比2,574百万円増）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は20,412百万円となり、前連結会計年度末と比較して550百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加（前期末比1,065百万円増）、自己株式の取得（同344百万円増）、土地再評価差額金の減少（同191百万円減）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年1月15日の「平成29年11月期決算短信」において公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,168,507	9,906,510
受取手形及び売掛金	16,021,320	17,415,885
電子記録債権	2,203,628	2,459,159
有価証券	600,000	100,000
商品及び製品	2,783,238	2,493,948
仕掛品	232,549	521,048
原材料及び貯蔵品	23,557	30,326
繰延税金資産	294,163	262,394
その他	2,625,293	3,550,493
貸倒引当金	△124,108	△168,236
流動資産合計	32,828,150	36,571,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,835,420	2,867,403
減価償却累計額	△639,233	△712,363
建物及び構築物 (純額)	2,196,186	2,155,040
機械装置及び運搬具	484,500	495,932
減価償却累計額	△380,299	△394,547
機械装置及び運搬具 (純額)	104,200	101,385
工具、器具及び備品	452,311	491,791
減価償却累計額	△285,113	△304,246
工具、器具及び備品 (純額)	167,197	187,545
貸与資産	2,165,543	2,599,901
減価償却累計額	△1,415,178	△1,645,772
貸与資産 (純額)	750,365	954,128
リース資産	71,061	71,061
減価償却累計額	△49,259	△54,922
リース資産 (純額)	21,802	16,139
土地	3,265,084	2,788,265
建設仮勘定	673	961
有形固定資産合計	6,505,511	6,203,466
無形固定資産		
のれん	377,402	328,949
その他	57,625	43,793
無形固定資産合計	435,028	372,742
投資その他の資産		
投資有価証券	1,468,777	1,412,376
繰延税金資産	37,646	32,216
その他	299,770	508,199
貸倒引当金	△43,007	△46,684
投資その他の資産合計	1,763,186	1,906,107
固定資産合計	8,703,726	8,482,316
資産合計	41,531,876	45,053,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,749,272	10,952,075
電子記録債務	6,051,047	8,625,463
短期借入金	624,100	190,498
1年内返済予定の長期借入金	50,333	—
未払法人税等	401,427	391,018
従業員株式給付引当金	—	58,727
その他	2,808,222	3,693,898
流動負債合計	20,684,405	23,911,681
固定負債		
長期借入金	327,903	300,000
繰延税金負債	188,193	158,560
退職給付に係る負債	60,730	32,855
役員退職慰労引当金	31,509	36,225
役員株式給付引当金	24,190	19,248
再評価に係る繰延税金負債	117,033	32,668
その他	236,039	150,332
固定負債合計	985,599	729,892
負債合計	21,670,005	24,641,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414,415	1,414,415
資本剰余金	1,325,178	1,398,498
利益剰余金	16,942,484	18,008,129
自己株式	△1,071,613	△1,416,561
株主資本合計	18,610,465	19,404,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411,531	349,192
繰延ヘッジ損益	296	98
土地再評価差額金	230,960	39,596
為替換算調整勘定	69,363	48,930
退職給付に係る調整累計額	△66,679	△54,573
その他の包括利益累計額合計	645,472	383,244
非支配株主持分	605,933	624,546
純資産合計	19,861,871	20,412,273
負債純資産合計	41,531,876	45,053,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
売上高	37,752,742	46,548,418
売上原価	32,368,435	40,158,733
売上総利益	5,384,307	6,389,685
割賦販売未実現利益戻入額	19,810	19,529
割賦販売未実現利益繰入額	20,866	36,837
差引売上総利益	5,383,252	6,372,377
販売費及び一般管理費	4,146,672	4,632,435
営業利益	1,236,579	1,739,941
営業外収益		
受取利息	33,679	41,125
受取配当金	14,550	17,935
固定資産売却益	69,241	36,350
為替差益	6,065	—
不動産賃貸料	79,042	82,805
雑収入	37,495	57,735
営業外収益合計	240,075	235,952
営業外費用		
支払利息	18,297	14,415
不動産賃貸費用	30,999	36,464
為替差損	—	18,716
雑損失	10,174	1,703
営業外費用合計	59,471	71,299
経常利益	1,417,184	1,904,594
特別利益		
固定資産売却益	5,184	20,294
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	5,186	20,294
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	22,447	182
投資有価証券評価損	4,149	459
減損損失	893	—
特別損失合計	27,495	642
税金等調整前四半期純利益	1,394,875	1,924,246
法人税等	488,491	672,308
四半期純利益	906,384	1,251,937
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25	8,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	906,410	1,243,662

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純利益	906,384	1,251,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,212	△62,298
繰延ヘッジ損益	9,174	△198
土地再評価差額金	—	△191,363
為替換算調整勘定	224,822	△9,486
退職給付に係る調整額	12,051	12,105
その他の包括利益合計	327,260	△251,241
四半期包括利益	1,233,644	1,000,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,190,165	981,435
非支配株主に係る四半期包括利益	43,479	19,260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	30,975,755	6,690,691	37,666,447	86,295	37,752,742	—	37,752,742
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,975,755	6,690,691	37,666,447	86,295	37,752,742	—	37,752,742
セグメント利益	1,708,859	208,211	1,917,071	30,308	1,947,380	△710,800	1,236,579

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△710,800千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	39,509,924	6,993,989	46,503,913	44,505	46,548,418	—	46,548,418
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	39,509,924	6,993,989	46,503,913	44,505	46,548,418	—	46,548,418
セグメント利益	2,272,450	291,633	2,564,083	20,560	2,584,643	△844,701	1,739,941

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△844,701千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。